

会 議 録

会議名 (審議会等名)		小金井市防災会議		
事務局 (担当課)		総務部地域安全課 防災消防係		
開催日時		令和5年3月29日(水) 午前10時00分～午前10時35分		
開催場所		小金井市役所 本庁舎3階 第一会議室		
出席者	委員	会長：白井 亨 委員：吉田 祐輔・辰野 充宣・山岡 聡文・鷹取 健輔・川畑 美和子・緒方 澄子・田川 尚子・都 良祐・笠原 富美子・佐藤 義明・中村 哲 代理出席：橋爪 英樹(小金井警察署)・鈴木 健司(小金井消防署)・清水 利将(日本郵便株式会社)・吉澤 淳子(東京電力パワーグリッド株式会社)・小林 伸樹(東京ガスネットワーク株式会社)・藤原 和雄(NTT東日本)		
	事務局	小金井市：加藤総務部長・宮奈地域安全課長・原嶋防災消防係長・神山主任・旦野主任 国際航業株式会社：内田氏・原田氏・板原氏		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	3人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由				
会議次第		(1) 小金井市地域防災計画の修正について(協議) (2) 小金井市事業継続計画(地震編)の策定について(報告) (3) 小金井市災害時職員初動マニュアルの策定について(報告) (4) その他		
会議結果		資料に基づき事務局が説明を行い、審議の結果、原案のとおり決定・承認された。		
提出資料		資料1-1 小金井市地域防災計画(令和5年3月修正)(案) 資料1-2 小金井市地域防災計画 概要版(令和5年3月修正)(案) 資料1-3 小金井市地域防災計画 別冊資料集(令和5年3月修正)(案) 資料2 小金井市事業継続計画(地震編)(令和5年3月改訂) 資料3 小金井市災害時職員初動マニュアル(令和5年3月) 小金井市防災会議委員名簿(令和5年3月20日現在) 小金井市防災会議条例		

1 開会

2 会長挨拶

3 新委員の紹介

令和4年度第2回の会議以降、変更となった委員（1名）を紹介

4 資料確認

配布資料の確認

5 議題及び審議結果

(1) 小金井市地域防災計画の修正について・・・協議

(会長)

事務局から説明を求めます。

(事務局)

資料1-1 小金井市地域防災計画（令和5年3月修正）（案）、資料1-2 小金井市地域防災計画 概要版（令和5年3月修正）（案）、資料1-3 小金井市地域防災計画 別冊資料集（令和5年3月修正）（案）について、資料に基づき説明。

(会長)

何かご意見等ありましたら、お願いいたします。

(公募 中村委員)

想定地震について意見を言いたいと思います。

資料1-1、12ページの被害想定における想定地震について、表中に「今後30年以内70%」という記載がありますが、多摩東部直下地震が今後30年以内に70%の確率で起きるというわけではありません。ある新聞記事でも、大きな見出しで首都直下地震、多摩東部は30年以内の発生確率7割と書かれており、誤解を受ける人が非常に多い。

ただ、この表の引用元である東京都の「首都直下地震等による東京の被害想定」では、表外に注釈があり、その注釈では想定した地震のいずれかが70%以内の確率で発生することを示すものではないと付け加えられています。

小金井市も東京都に倣って、12ページに同様の注釈を入れるべきではないか。

(会長)

今のご意見に対して、事務局から何かありますか。

(事務局)

ご意見の内容について調整しまして、取り入れられる部分は取り入れたいと考えております。

(会長)

他にご意見等はございますか。

(公募 中村委員)

資料1-2 小金井市地域防災計画(概要版)の3、4ページにある被害想定項目が細かいのではないかと。市民は概要版しか見ないと思うので、全体的に簡潔にした方が良くと思います。例えば、原因別建物半壊棟数の内訳に原因別建物大規模半壊棟数がありますが、半壊と大規模半壊に分けても市民目線ではあまり意味がないのではないかと。また、都心南部直下地震と多摩東部直下地震についても位置が少し変わったただけなので、都心南部直下地震を表から削除するなど、見やすくする工夫をしてほしい。

(事務局)

内容を検討の上、修正できる部分については、修正いたします。

(会長)

他にご意見等はございますか。

(会長)

それでは、ご意見の内容を反映できるかについては、事務局から検討する旨の回答もございましたので、そのようにさせていただきます。

その上で、会長にご一任いただき、資料1-1～資料1-3の内容について確定いたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員一同)

異議なし。

(会長)

異議なしと認めまして、小金井市防災会議として小金井市地域防災計画を確定いたします。それでは、議題(1)「小金井市地域防災計画の修正について」を終了いたします。

(2) 小金井市事業継続計画(地震編)の策定について・・・報告

(会長)

事務局から説明を求めます。

(事務局)

資料2 小金井市事業継続計画(地震編)(令和5年3月改訂)について、資料に基づき説明。

(会長)

何かご意見等ありましたら、お願いいたします。

(会長)

特にないようでしたら、以上で議題(2)「小金井市事業継続計画(地震編)の策定について」の報

告を終了いたします。

(3) 小金井市災害時職員初動マニュアルの策定について・・・報告

(会長)

事務局から説明を求めます。

(事務局)

資料3 小金井市災害時職員初動マニュアル（令和5年3月）について、資料に基づき説明。

(会長)

何かご意見等ありましたら、お願いいたします。

(川畑委員)

この初動マニュアルに関連して要望があります。数年前の台風で、実際に避難所の対応にあたった職員の方から聞いた話ですが、当時は避難所の開設手順や判断基準がわからず戸惑ったとのことでした。なぜ、そのような事態が起きたのかと言いますと、災害時に小・中学校を避難所として開設する場合は、あらかじめ対応する職員が決まっていると思いますが、その方たちは普段から学校に行っているわけではないので、校舎内を把握しておらず、避難者に適切な指示が出せなかったとのことでした。

せっかく、このようなマニュアルを作成してもらったので、小・中学校に参集する職員の方々にはマニュアルを通して説明など行い、不安なく行動できるようなフォローをしていただきたいと思います。また、日頃から学校とコミュニケーションを取ることも大事なので、ぜひ顔をつないでいただきたいと思います。

(会長)

それは、いつのエピソードですか。

(川畑委員)

令和元年の台風です。当時は毛布を出したかったけれど、すぐに出せなかったとか、そのようなエピソードも聞きました。

避難してきた方がまず頼るのは、職員だと思います。その後は、自主運営という形になると思いますが、まずは職員による対応が第一なので、基本的な準備についてはお願いしたいです。

(会長)

今のご意見について、事務局からお願いします。

(事務局)

ご意見のとおり、日頃から学校、地域及び職員との顔合わせは必要と考えております。各学校に参集する職員については「指定要員マニュアル」というものがございしますが、マニュアルに目を通すだけでは想像しがたい部分もございしますので、訓練等を重ねていく中でマニュアルのアップデートをしていければと考えております。また、今回の初動マニュアル作成を通して、職員全体に周知

し、市全体の防災力向上に努めてまいります。

避難所に参集する職員については、各避難所に5名ずつ指定しております。避難所の開設にあたっては、昨年度、避難所開設キットという形で箱の中に避難所開設用品をまとめたものを作成しました。そして今年度は、その中にスタートアップマニュアルという形で避難所を開設するための手順書を作成しました。

今年度の総合防災訓練では、それを一部活用して訓練を行ったところでありまして、今後もパターンを替えて訓練を行いたいと考えております。

(会長)

他にご意見等ありましたら、お願いいたします。

(会長)

特にないようでしたら、以上で議題(3)「小金井市災害時職員初動マニュアルの策定について」の報告を終了いたします。

(4) その他

(会長)

事務局から説明を求めます。

(事務局)

今後のスケジュールについて説明をさせていただきます。

2つの訓練の予定をしております、1つ目が小金井市総合水防訓練でございます、日程が5月14日(日)、場所が野川第二調節池になります。

2点目が小金井市総合防災訓練でございます、開催日が10月22日(日)、場所が東京農工大学小金井キャンパスになります。

(会長)

何かご意見などがありましたら、お願いします。

それでは、以上で議題(4)「その他」を終了いたします。

本日の議題はすべて終了いたしました。

それでは、以上を持ちまして、令和4年度 第3回小金井市防災会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

6 閉会

以上